

通学、通勤、通院、貨物輸送。
思い出の詰まった線路が、廃線になろうとしている。
今こそみんなで、日高線を考えましょう。



日高線の今とこれからのを考える。

Think about HIDAKA LINE.

日高線（苫小牧～様似間、146 キロ）が高波被害により、一部区間を除き、不通となって約6年が経過しています。

いま日高線を廃線とし、バス転換することが現実となりつつあります。
そもそも日高線が不通になってから復旧を目指す動きがあり、しかしなぜ復旧が叶わなかったのか、
もしもこのまま廃線が決まったとしたら、これからの日高線をどうしたらいいのか、
再生するにはどうしたらいいのかなど、
地元に住む皆さん、世代を越えてどなたでも参加ください。
「日高線の今とこれからのを考える」プロジェクトを始めたいと思います。

日時：**2020年10月3日(土)** **入場無料**
16時～18時30分

場所：浦河・大黒座（浦河町大通 2-18）



浦河・大黒座

トーク：池田 拓氏（浦河町長）、酒井 元秀氏（元 新ひだか町長）、地脇 聖孝氏（安全問題研究会代表）
なお当日会場にお越しの方々からのご意見、質問をいただきたいと思ひます。

上映：日高線の映像をご覧ください。

主催：「日高線の今とこれからのを考える」プロジェクト

お問い合わせ：090-3433-6644(稲塚)